

令和5年度岐阜県保育研究協議会事業計画

【基本方針】

今日、保育現場においては、地域における子育てニーズや、保護者の働き方の多様化等により、様々な保育のメニューが必要となっており、業務が複雑・多様化しています。

他方、子どもや子育てを取り巻く環境が変化し続ける中、保育士・保育教諭は、自ら行う保育を振り返りながら質の向上を図ることや、研修や実践研究等とおして専門性の向上に努めることが今まで以上に求められています。

本会としましては、こうした現状を鑑み、会員の皆様の負担を出来る限り軽減しながら、各事業の充実・強化を図っていくため、本会の組織運営と事業の見直しを実行してまいります。

保育の質の向上を図りながら、地域社会に信頼される保育所・認定こども園をめざし、行政機関、専門機関、地域住民との連携も強化して、現状の課題を検討し具体的な施策を図ることを基本方針とします。

【重点目標】

- 1 保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく質の高い保育の提供
- 2 保育士・保育教諭等の資質向上、専門性の向上
- 3 多様な機関・団体等との連携・協力による保育機能の強化
- 4 協議会事業の充実と組織強化

【事業計画】

1 会務の運営

事業の円滑な実施に向けて、次の会議を開催する。

- (1) 協議員総会 <年2回>
- (2) 常任協議員会 <年3回>
- (3) 正副会長会議 <年8回>
- (4) 監事会 <年1回>

2 専門委員会の開催

本会の目的を達成するため、次の専門委員会を開催し、必要に応じて学識経験者を置く。

- (1) 広報委員会
本会の機関紙「ぎふ保育」の企画・編集を行うための委員会を開催する。
- (2) 保育内容委員会
保育内容・子育て支援に関する実践上の問題点や課題について重点テーマを設定して研究する。
- (3) 研修委員会
県保協で行う研修の企画、運営、講師選定等について研究する。

3 大会の開催

第60回岐阜県保育研究大会（坂祝オンライン大会）

配信期間：令和5年7月1日（土）～31日（月）

実施方法：オンデマンド方式

講師：未定

参加予定：320名（220保育所・園）

4 研修会の開催

(1) 協議員研修会

期 日：令和5年5月24日（水）

実施方法：会場参集（会場：岐阜県福祉・農業会館）

ファシリター：東海学院大学短期大学部 教授 杉山 喜美恵 氏（予定）

参加予定：約30名

(2) 保育施設長研修会<受託研修事業>

期 日：令和5年10月20日（金）

実施方法：オンライン

講 師：玉川大学 教授 大豆生田 啓友 氏、

一般社団法人日本保育者支援協会 顧問 新保 庄三 氏

参加予定：300名

(3) 岐阜県保育士研究発表会

期 日：令和6年1月20日（土）（予定）

実施方法：オンライン(予定)

発表者：飛騨ブロック（下呂市）

参加予定：約400名

(4) 保育所保育指針に関する研修会（受託研修事業・5圏域で開催）

区分	講 師	期 日	実施方法
岐阜	非営利団体コドモノミカタ 代表理事 井桁 容子 氏	令和5年11月11日（土）	オンライン等
西濃	京都大学 名誉教授・中京大学 教授 鯨岡 峻 氏	令和5年10月28日（土）	オンライン
中濃	東洋大学 ライフデザイン学部 生活支 援学科 教授 高山 静子 氏	令和5年10月21日（土）	オンライン
東濃	お茶の水女子大学アカデミック・プロダ クション 教授 宮里 暁美 氏	令和5年11月25日（土）	オンライン
飛騨	未定	令和5年11月18日（土）	オンライン

5 受託研修事業の実施

岐阜県から受託を受けて、保育者の資質向上を図るため階層別・課題別等の研修を行う。

(1) 階層別研修

①初任保育士研修

②主任保育士研修

③保育施設長研修会（再掲）

(2) 課題別研修

①ブロック別研修（県内5会場）

②認可外・地域型保育事業従事者研修

③メンタルヘルス研修

④保育の職場環境改善・人材育成研修（2回）

現場における業務の効率化、省力化を促し、保育士の業務負担を軽減するとともに、職場環境の改善による保育士の離職防止及び職場定着を図る研修を開催。

⑤保育現場のリスクマネジメント

(3) テーマ別研修（7つのテーマ別に開催）

現場が課題としているテーマを主体とした研修を開催。

6 保育オンライン研修の実施（新）

本会会員と非会員の差別化を図るため、会員限定の「オンライン研修」を実施する。

(1) 食育推進研修会（調理員・栄養士等対象）

(2) 保健衛生・安全対策に関する研修（看護師等対象）

(3) 法律知識・労務管理に関する研修（事務員等対象）

- (4) 中堅保育士向け研修（中堅保育士対象）
- (5) 事故防止・災害対策に関する研修（施設長等対象）

7 公立保育所等が実施する園内研修への講師派遣助成事業（新）

本会会員公立保育所等が園内研修を計画・実施するにあたり、指導者に支払う講師料を助成することで、公立保育所における園内研修の普及促進を図る。

助成対象：本会会員公立保育所・こども園等

助成額：40万円 1施設助成額上限 8万円（5施設程度想定）

8 保育新入職員合同交流事業（新）

新たに保育業務に従事する保育士・保育教諭を激励するとともに、所属施設を超えた同期と一緒に現在の自分を振り返る時間を共有することで、仕事に向かう意欲を高め、保育現場への定着及び離職防止を図る。

期日：令和5年10月（予定）

場所：県内保育養成校講義室（予定）

講師：岐阜県保育士会会長 仲野悦子 氏、演習ファシリテーター 県内保育養成校教諭 等

参加予定：50人

9 不適切保育防止セミナー（新）

保育士による不適切保育の事例が全国で相次いで明らかになっており、保育施設長や主任保育士を対象としたセミナーを開催し、不適切保育について考える機会とする。

期日：未定（年2回開催）

場所：県内2か所（予定：岐阜市、多治見市）

講師：岐阜聖徳学園大学 短期大学部 教授 徳広 圭子 氏（予定）

参加予定：各70名程度

10 調査・広報活動の推進

- (1) 機関紙「ぎふ保育」の発行（発行：年3回）
- (2) ホームページによる研修等情報の発信（新）
- (3) 「保育関係研修等講師情報一覧」の作成（新）
- (4) 「会員保育施設間の園内研修及び行事の共有」についての調査（新）
- (5) マスコットキャラクター「らいみい」等の活用による本会活動の理解促進

11 ブロック活動の実施

5つの圏域ごとに次の事業を行う。

- (1) 連絡会議
- (2) 保育者研修会

12 保育制度・予算対策運動の実施

今日の多様な保育ニーズや諸課題に対応できる保育制度の構築及び予算確保に向けた運動を実施する

- (1) 今後の保育制度のあり方
- (2) 予算・保育対策活動協力金拠出運動への協力
- (3) 総会並びに岐阜県子どもの健康を考えるつどい

13 関係機関・団体への協力

県小児保健協会が実施する事業に協力することにより、子どもの健やかな育ちと保育者の資質向上を図る。

14 全国および東海北陸における大会・研修会への参加

- (1) 第64回東海北陸保育研究大会「三重大会」

令和5年7月12日（水）～13日（木）

三重県津市 三重県総合文化センター

- (2) 東海北陸ブロック次世代保育リーダー養成セミナー・保育士会セミナー
令和5年12月15日(金) 三重県津市 三重県総合文化センター
- (3) 全国保育士会食育推進研修会
令和5年7月 東京近郊
- (4) 公立保育所等トップセミナー
令和5年8月 オンライン
- (5) 第66回全国保育研究大会「大分大会」
令和5年11月16日(木)、17日(金) 大分県別府市
- (6) 第56回全国保育士研究大会「静岡大会」
令和5年10月19日(木)、20日(金) 静岡県浜松市
- (7) 第50回全国保育士研修会
令和6年2月 西日本